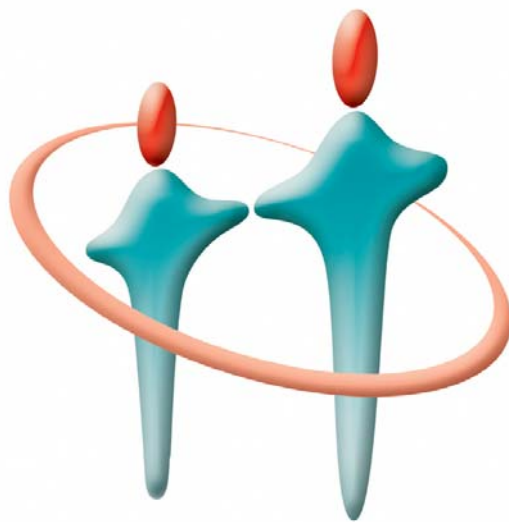


平成25年度事業報告 及び決算報告



JAPAN SOCIETY OF
NINGEN DOCK

公益社団法人

日本人間ドック学会

目次

(事業報告)

I. 序章	1
1. 事業実施事項	1
2. 役員／社員／会員数等	4
II. 人間ドック認定医制度	5
1. 第15回人間ドック認定医認定	5
2. 第10回人間ドック認定医更新	5
III. 人間ドック健診専門医制度	5
1. 平成25年度人間ドック健診専門医認定試験 認定者数	5
2. 人間ドック健診専門医制度 研修(関連)施設・指導医 認定・更新(移行)数	5
IV. 人間ドック健診施設機能評価	6
1. 人間ドック健診施設機能評価 認定施設数	6
2. Ver3.0への移行について	6
3. 第14回サーベイヤ－研修会	6
4. 公式講習会	6
5. Ver3.0説明会	7
V. 研修会・人材育成活動	8
1. 人間ドック認定医・人間ドック健診専門医の育成	8
2. 人間ドック健診情報管理指導士の育成	9
3. 人間ドック健診食生活改善指導士の育成	11
VI. 第54回 日本人間ドック学会学術大会	13
1. 開催概要	13
2. 主要プログラム	14

(決算報告) 平成26年3月31日 現在

1. 貸借対照表	1
・ 貸借対照表内訳表	2
2. 正味財産増減計算書	3
・ 正味財産増減計算書内訳表	4
・ 財務諸表に対する注記	6
3. 財産目録	7
・ 附属明細書	8

事業報告

<事業報告>

I. 序 章

1) 事業実施事項

1. 学術大会開催に関する事項

第54回日本人間ドック学会学術大会

期 日：2013年（平成25年）8月29日（木）～30日（金）

会 場：アクトシティ浜松/オークラアクトシティホテル浜松

テーマ：「トータル・ヘルス・ケアとしての人間ドック」

学術大会長：堺 常雄（社会福祉法人聖隷福祉事業団総合病院 聖隷浜松病院 総長）

2. 研修会開催に関する事項

- ①人間ドック健診認定医・専門医研修会の開催（年3回）
- ②人間ドック健診施設機能評価サーベイヤー研修会の開催（年1回）
- ③人間ドック健診施設機能評価公式講習会の開催（年2回）
- ④人間ドック健診施設機能評価 Ver3 受審施設説明会の開催（年2回）
- ⑤人間ドック健診情報管理指導士研修会の開催（年2回）
- ⑥人間ドック健診情報管理指導士ブラッシュアップ研修会の開催（年5回）
- ⑦人間ドック健診食生活改善指導士向け研修会の開催（年1回）

3. 人間ドック認定医・専門医制度に関する事項

- ①人間ドック認定医の質の向上と強化
- ②人間ドック健診専門医試験の実施（日本総合健診医学会と共同実施）
- ③人間ドック健診指導医の更新（移行）・認定
- ④人間ドック健診研修施設の更新（移行）・認定
- ⑤人間ドック健診専門医専用ホームページを開設
- ⑥人間ドック健診専門医認定試験のためのセルフトレーニング問題集の作成
（日本総合健診医学会との共同作成）

4. 人間ドック健診施設機能評価に関する事項

- ①人間ドック健診施設の認定
- ②人間ドック健診施設機能評価受審の推進
- ③人間ドック健診施設機能評価表 Ver. 3 にて新規/更新実施
- ④人間ドック健診施設機能評価表 Ver. 3 運用についての検討

5. 人間ドック健診情報管理指導士に関する事項

- ①人間ドック健診情報管理指導士の認定
- ②人間ドック健診情報管理指導士の更新

6. 特定健診・特定保健指導に関する事項

- ①特定健診・特定保健指導施設のとりまとめと保険者への紹介(集合契約A)
- ②特定健診・特定保健指導に関する情報収集活動の強化

7. 健康保険組合連合会等との指定施設に関する事項

- ①人間ドック健診施設との一日ドック・二日ドックの指定契約

8. 広報活動に関する事項

- ①学会誌「人間ドック」の充実、投稿の拡大強化

VOL. 28 NO. 1 2013. 6 (原著論文・学会大会)

VOL. 28 NO. 2 2013. 7 (学会大会プログラム・抄録集)

VOL. 28 NO. 3 2013. 9 (原著論文集)

VOL. 28 NO. 4 2013. 12 (原著論文・学会大会開催案内集)

VOL. 28 NO. 5 2014. 3 (原著論文/学会大会開催案内第2弾)

- ②英文誌「Ningen Dock International」

VOL. 1 NO. 1 2014. 3 (原著英文誌)

*英文誌の発刊については原著英論文の投稿状況に応じて年1～2回とする

- ③ホームページの完全リニューアル(英文表示)を実施
- ④電子化し、独立行政法人科学技術振興機構(JST)が構築したJ-STAGEに登載する、世界中どこからでもアクセスできる体制の強化
- ⑤国内外学術団体及び協力団体等との情報交換を積極的に展開
- ⑥学会活動状況を積極的に公開

9. 委員会活動に関する事項

- ①基本問題検討委員会

- ②人間ドック健診施設機能評価委員会

- ③学術委員会

・がん登録小委員会 / 基準検査検討小委員会 / 呼吸機能基準値検討小委員会

喫煙対策小委員会/人間ドック健診の追跡調査・分析に基づく標準的検査基準値及び有用性に関する調査研究小委員会(健保連との共同研究事業)/デュアルインピーダンス法有用性に関する小委員会

- ④編集委員会

・Pub MedならびにWeb of Science収録に関する小委員会

- ⑤日本人の臨床検査基準値に関する調査委員会

- ⑥人間ドック認定医委員会

- ⑦人間ドック健診専門医合同委員会(日本総合健診医学会との合同事業)

・試験問題検討/作成小委員会(問題集作成小委員会) / 認定小委員会 / 研修会検討小委員会
施行規則・細則改訂小委員会 / 研修プログラム・カリキュラム検討作成小委員会

- ⑧人間ドック健診専門医制度委員会(単独)

- ⑨特定健診・特定保健指導対策委員会
 - ・研修内容検討小委員会
- ⑩人間ドック健診統計調査委員会
- ⑪人間ドック画像検査判定ガイドライン作成委員会
- ⑫倫理委員会
- ⑬社員選任/役員選定委員会

10. 統計・調査に関する事項

- ①人間ドック健診受診者データの経年的分析、蓄積
- ②特定健診/特定保健指導受診者数データの整理、蓄積
- ③行政機関、他の学術団体との比較可能なデータの集積

2) 役員／社員／会員数等

①役員数等 理事長 1名
副理事長 3名
理事 22名
監事 3名
(名誉顧問) 16名

②社員総数 157名

③正会施設会員／賛助会員数 (平成 26 年 3 月 31 日現在)

A会員 (医師)	5,423 人
B会員 (医師以外)	531 人
C会員 (施設 (医療機関))	1,611 施設
S会員 (企業など)	28 団体

④その他

・人間ドック認定医・専門医数 (平成 26 年 3 月 31 日現在)

認定医交付人数	4,666 人
専門医交付人数	1,046 人

・人間ドック健診情報管理指導士累積人数	5,261 人 (平成 26 年 3 月 31 日現在)
・人間ドック健診食生活改善指導士累積人数	937 人 (平成 26 年 3 月 31 日現在)
・人間ドック健診施設機能評価累積認定数	316 施設 (平成 26 年 3 月 31 日現在)

・一日ドック／二日ドック指定数 (平成 26 年 3 月 31 日現在)

一日ドック	273 施設
二日ドック	544 施設

II. 人間ドック認定医制度

1. 第15回人間ドック認定医認定

人間ドック認定医制度は、平成25年4月1日の認定者数は258名であり、認定医交付総数として4,666名となった。

2. 第10回人間ドック認定医更新

人間ドック認定医制度（更新）は、平成25年4月1日の更新者数は306名であり、更新者総数は2,511名である。

III. 人間ドック健診専門医制度

平成23年度より名称を『人間ドック健診専門医』と変更し、平成24年度より日本総合健診医学会との合同事業となったことから、平成25年度人間ドック健診専門医認定試験を両学会合同にて実施し、145名（日本人間ドック学会145名、日本総合健診医学会認定者11名、新制度更新者11名 計167名）の新制度人間ドック健診専門医認定者は2年間で合計334名となった。

人間ドック健診専門医認定者には、両学会認定の専門医認定証を交付し、更新までの5年間に50単位（両学会企画30単位・両学会以外の企画上限20単位）を取得することとなる。

◆平成25年度人間ドック健診専門医認定試験（日本総合健診医学会との合同2回目）

日時：平成25年10月20日（日） 13:00～15:00（受付11:30～）

会場：品川フロントビル 地下1階（東京都港区港南2丁目3-13）

受験対象者：社員および申請した認定医更新者等 資格該当者

試験内容：●両学会の問題集および追加問題含め 計100問出題

●100問×1回（100分間） マークシート方式による筆記試験

◆平成25年度人間ドック健診専門医 認定者数

・日本人間ドック学会 平成25年度人間ドック健診専門医認定者数：145名

（日本総合健診医学会 平成25年度認定者数：11名 新制度更新者数：11名）

認定期間は、平成26年4月1日～平成31年3月31日 5年間とする。

【人間ドック（健診）専門医認定者数（累計）：1,046名】

◆平成25年度人間ドック健診専門医制度 指導医・研修施設 認定数

新制度条件を満たした指導医・研修施設を両学会で認定した。

・日本人間ドック学会 指導医： 新規認定73名、更新認定199名

研修施設： 新規認定17施設、更新施設159施設

（日本総合健診医学会： 指導医： 新規認定8名

研修施設： 新規認定4施設、更新施設3施設）

認定期間は、平成26年4月1日～平成31年3月31日 5年間とする。

IV. 人間ドック健診施設機能評価

平成 26 年 3 月末現在、444 施設から受審申請がある。認定施設の累計は 331 施設である。(うち 2 回更新済み 14 施設、1 回更新済み 202 施設、更新辞退 15 施設)

認定施設の分布状況は、44 都道府県に認定施設がある。(申請は全 47 都道府県からある)

【認定施設の分布 *平成 26 年 3 月末現在】

北海道	11	東京都	51	滋賀県	1	香川県	4
青森県	3	神奈川県	20	京都府	10	愛媛県	3
岩手県	3	新潟県	6	大阪府	22	高知県	3
宮城県	8	富山県	2	兵庫県	12	福岡県	13
秋田県	4	石川県	1	奈良県	2	佐賀県	1
山形県	4	福井県	3	和歌山県	0	長崎県	2
福島県	2	山梨県	1	鳥取県	0	熊本県	3
茨城県	4	長野県	9	島根県	2	大分県	4
栃木県	5	岐阜県	7	岡山県	10	宮崎県	0
群馬県	5	静岡県	8	広島県	10	鹿児島県	3
埼玉県	10	愛知県	17	山口県	3	沖縄県	3
千葉県	11	三重県	7	徳島県	1	海外 (台湾)	2

◆バージョン 3.0 への移行について

平成 20 年度より運用されてきた評価基準バージョン 2.0 から、更なる円滑で質の高い評価を行うために、平成 25 年度より評価基準バージョン 3.0 に移行した。作成検討委員会を発足し、新基準の運用に向けて約 4 年間の実績を踏まえた改定を行った。

◆第 14 回サーベイヤー研修会

サーベイヤーのスキルアップおよび最新の評価基準の解釈周知等を目的に例年開催している。今年は、評価基準バージョン 3.0 最終版の報告を行った。

日 時：平成 25 年 8 月 28 日(水) 13:00～15:30

会 場：アクトシティ浜松・オークラアクトシティホテル浜松

参加者：サーベイヤー 89 名

◆公式講習会

受審(希望)施設を対象に講習会を開催した。

<第 1 回>

日 時：平成 25 年 10 月 24 日(木) 13:30～16:00

会 場：日本病院会 2 階会議室

参加者：169 名(78 施設)

プログラム：認定施設に求められる基本姿勢について（講師 小山和作）

評価基準バージョン 3.0 改定について（講師 石坂裕子）

Ver3.0 パイロットスタディ受審のうえでのポイント、評価基準の解釈（座長 那須繁）

<第2回>

日 時：平成 25 年 11 月 29 日（金）14：00～16：00

会 場：日本病院会 3 階会議室

参加者：115 名（59 施設）

プログラム：認定施設に求められる基本姿勢について（講師 小山和作）

評価の意義（講師 岩崎榮）

訪問調査概要・第 1 領域について（講師 米澤勝美）

第 2 領域について（講師 石坂裕子）

第 3 領域について（講師 那須繁）

◆Ver3.0 説明会

バージョン 3.0 への移行に伴い、受審（希望）施設向けに説明会を開催した。

<第1回>

日 時：平成 25 年 4 月 25 日（木）14：00～16：00

会 場：日本人間ドック学会 会議室

参加者：14 名（7 施設）

<第2回>

日 時：平成 25 年 5 月 23 日（木）14：00～16：00

会 場：日本病院会 3 階会議室

参加者：46 名（25 施設）

◆健保連等との人間ドック指定契約について

平成 26 年 3 月末現在の契約施設は、一日ドック 273 施設（うち 2 施設休止中）、二日ドック 525 施設（うち 8 施設休止中）である。

なお、旧制度の優良二日ドック指定施設で、指定継続を希望する施設においては、次回更新時にまでに実査（実態調査）を実施することとなる。

V. 研修会・人材育成活動

1. 人間ドック認定医・人間ドック健診専門医の育成

●第34回人間ドック健診認定医・専門医研修会

日 時：平成25年6月8日（土） 12：30～16：20

会 場：神戸ポートピアホール 564名

【前半司会：岡山 政由委員・後半司会：廣瀬 光彦委員】

開会挨拶 伊藤千賀子 日本人間ドック学会副理事長、医療法人グランド・ターメディカルコート 理事長

12：35～12：45 「泌尿器科系がんについて（健診の立場から）」

三木 恒治 京都府立医科大学大学院 医学研究科泌尿器外科 教授

13：45～14：55 「臓器障害リスクとしての高尿酸血症 心・血管・腎及び

メタボリック症候群のリスクとしての高尿酸血症」

久留 一郎 鳥取大学大学院医学系研究科再生医療学 教授

15：10～16：20 「医療の質を測り改善する」

福井 次矢 聖路加国際病院 院長

●第35回人間ドック健診認定医・専門医研修会

日 時：平成25年8月31日（土） 9：30～14：10

会 場：アクトシティ浜松 1F 大ホール 1,034名

【前半司会：山門 實専門医合同委員長・後半司会：亀井 徹正委員長】

開会挨拶 宮下正弘 日本人間ドック学会副理事長、

日本赤十字秋田短期大学介護福祉学科特任教授

9：35～10：45 「CT colonography を用いた大腸がんスクリーニングの最前線」

飯沼 元 独立行政法人国立がん研究センター中央病院 放射線診断科医長

10：45～11：55 「乳がんの診断と治療 ―最近の話題より―」

中村 清吾 昭和大学医学部 外科学講座乳腺外科部門 教授

13：00～14：10 「医療安全の原理 : キーワードを活かす対策」

橋本 廸生 公益財団法人日本医療機能評価機構 執行理事

●第36回人間ドック健診認定医・専門医研修会

日 時：平成26年3月9日（日） 12：30～16：40

会 場：東京ビッグサイト 7F 国際会議場 769名

【前半司会：西崎 統委員・後半司会：鏑木淳一委員】

開会挨拶 奈良 昌治 日本人間ドック学会 理事長

- 12:35～13:45 「Medical radiation exposure in Japan～日本における医療放射線被ばくについて～」
 中川 恵一 東京大学医学部放射線医学教室 准教授
- 13:45～14:55 「がん検診：利益と不利益」
 津金 昌一郎 独立行政法人国立がん研究センター
 がん予防・検診研究センター センター長
- 15:10～16:20 「アルコール依存症 早期発見と介入」
 樋口 進 独立行政法人国立病院機構久里浜医療センター 院長
- 16:20～16:40 「今後のわが国の専門医制度と人間ドック健診専門医制度」
 亀井 徹正 人間ドック健診専門医制度委員会 委員長、
 医療法人徳洲会湘南藤沢徳洲会病院 院長

2. 人間ドック健診情報管理指導士の育成

●人間ドック健診情報管理指導士 研修会

(対象：医師・保健師・管理栄養士)

回	日程	会場	認定者数	内訳
第21回	平成25年6月14日(金)～15日(土)	日本病院会セミナー ールーム(東京)	194名	医師：47名 保健師：107名 管理栄養士：40名 (他修了者：15名)
第22回	平成26年1月24日(金)～25日(土)	TFTビル(東京)	153名	医師：35名 保健師：78名 管理栄養士：40名 (他修了者：13名)

【平成25年度 プログラムと担当講師】

『基礎編：①健診・保健指導の理念②保健指導対象者の選定と階層化③保健指導の基本的事項』

・福井 敏樹 (NTT西日本高松診療所予防医療センター 所長)

『基礎編：①保健指導の立案～評価まで②ポピュレーションアプローチとの連動』

『技術編：①行動変容に関する理論②生活習慣病改善への行動計画③情報提供、動機付積極的支援の内容』

・福田 洋 (順天堂大学医学部総合診療科 准教授)

『技術編：メタボリックシンドロームの概念』

『技術編：保健指導の評価』

・高橋 英孝 (東海大学医学部基盤診療学系健康管理学 教授)

『身体活動・運動に関する保健指導』

・宮地 元彦 (独立行政法人国立健康・栄養研究所 健康増進研究部長)

『たばこ・アルコールに関する保健指導』

- ・中村 正和（大阪がん循環器病予防センター 予防推進部長）

『食生活に関する保健指導』

- ・五味 郁子（神奈川県立保健福祉大学保健福祉学部栄養学科 講師）

『行動変容につながる保健指導』

- ・河野 啓子（四日市看護医療大学 学長）

『保健指導の展開』（演習）

- ・河野 啓子（四日市看護医療大学 学長）
- ・後藤 由紀（四日市看護医療大学 地域看護学 准教授）
- ・畑中 純子（四日市看護医療大学 地域看護学 准教授）

『人間ドック健診におけるがん検診—その現状と展望—』

- ・三原 修一（みはらライフケアクリニック 院長）

●人間ドック健診情報管理指導士 ブラッシュアップ研修会

（対象：医師・保健師・管理栄養士）

回	日程	会場	参加者数	内訳
第24回	平成25年8月4日（日）	日本病院会セミナールーム （東京）	<u>183名</u>	医師：77名 保健師：53名 管理栄養士：53名
第25回	平成25年9月8日（日）	AP大阪駅前梅田1丁目 （大阪）	<u>170名</u>	医師：59名 保健師：53名 管理栄養士：58名
第26回	平成25年10月5日（土）	AP浜松町（東京）	<u>208名</u>	医師：70名 保健師：72名 管理栄養士：66名
第27回	平成25年12月1日（日）	京都リサーチパーク （京都）	<u>189名</u>	医師：90名 保健師：49名 管理栄養士：50名
第28回	平成26年2月15日（土）	AP浜松町（東京）	<u>144名</u>	医師：63名 保健師：50名 管理栄養士：31名

【平成25年度 プログラムと担当講師】

『標準的な健診・保健指導プログラム【改訂版】のポイント』

- ・高橋 英孝（東海大学医学部基盤診療学系健康管理学 教授）

『睡眠と休養について』

- ・中村 真樹（医療法人社団絹和会 睡眠総合ケアクリニック代々木 院長）

- ・井上 雄一（東京医科大学睡眠学講座 教授）
 - ・保坂 隆（聖路加国際病院精神腫瘍科 部長）
- 『禁煙指導』
- ・来馬 明規（とげぬき地蔵尊 高岩寺 住職）
- 『事例検討』（演習～運動指導の提案～）

（事例提供）

- ・山下 真理子（医療法人社団同友会 産業保健本部 産業保健指導部 部長）
- ・奥田 友子（一般財団法人京都工場保健会 保健指導課 課長）
- ・秋元 順子（医療法人社団こころとからだの元気プラザ 医療サービス事業本部健康支援部 保健師）

（事例における運動指導の講義）

- ・宮地 元彦（独立行政法人国立健康・栄養研究所 健康増進研究部長）
- ・村上 晴香（独立行政法人国立健康・栄養研究所 運動ガイドライン研究室 研究員）

（事例における食生活指導のポイント）

- ・五味 郁子（神奈川県立保健福祉大学保健福祉学部栄養学科 講師）
- ・須賀 厚子（医療法人社団こころとからだの元気プラザ 健康支援部 科長）

（演習リーダー）

- ・福井 敏樹（NTT 西日本高松診療所予防医療センタ 所長）
- ・福田 洋（順天堂大学医学部総合診療科 准教授）
- ・富田 照見（一般財団法人関西労働保健協会 理事長）
- ・大塚 博紀（さやま総合クリニック健診センター 健診センター長）

（演習講師）

- ・飯田 吾子（牧田総合病院人間ドック健診センター 健康運動指導士）
- ・森田 麻友美（一般財団法人関西労働保健協会 保健指導部 科長）
- ・辻 奈々子（医療法人社団同友会 産業保健本部 運動指導科）
- ・橋本 良子（一般財団法人京都工場保健会 産業保健推進部 保健指導課）

3. 人間ドック健診食生活改善指導士の育成

●人間ドック健診食生活改善指導士向け（フォローアップ）研修会

（対象：看護師・准看護師・栄養士・薬剤師・歯科医師・歯科衛生士等）

回	日程	会場	参加者	内訳
第1回	平成25年11月17日（日）	日本病院会 セミナー ーム（東京）	157名	看護師：128名、栄養士：7名 歯科医師：3名、歯科衛生士：2名 准看護師：7名、助産師：2名 薬剤師：8名

【平成 25 年度 プログラムと担当講師】

『第 2 期特定健診・特定保健指導について～標準的な健診・保健指導プログラム改訂版を中心に～』

- ・高橋 英孝（東海大学医学部基盤診療学系健康管理学 教授）

『食生活指導におけるアセスメント（初回面談から継続支援まで）』

- ・五味 郁子（神奈川県立保健福祉大学 保健福祉学部栄養学科 講師）

『喫煙とアルコールに関する保健指導』

- ・中村 正和（大阪がん循環器病予防センター 予防推進部長）

『健康づくりのための身体活動基準・指針 2013』

- ・澤田 亨（独立行政法人 国立健康・栄養研究所 健康増進研究部 身体活動評価研究室 室長）

『医療品適正使用に関する留意点』

- ・山田 安彦（東京薬科大学 医学部臨床薬効解析学教室 教授）

VI. 第 54 回 日本人間ドック学会学術大会

1. 開催概要

1. 開催日程 平成 25 年 8 月 29 日(木曜)・30 日(金曜)
2. 開催会場 静岡県：アクトシティ浜松・オークラアクトシティホテル浜松
3. 学術大会長 塚 常雄 (聖隷浜松病院 総長)
4. テーマ 『トータル・ヘルス・ケアとしての人間ドック』
5. 開催内容

学術大会長講演	1 題
特別講演	1 題
教育講演	1 題
基調シンポジウム	1 題
シンポジウム	3 題
パネルディスカッション	1 題
特別企画	2 題
会員集会・全国集計報告ほか	1 題
一般演題 (申込み 424 題)	414 題
	計 425 題

ランチョンセミナー	15 題
企業展示	82 ブース

6. 参加実人数 3,661 名(有料者のみ)

・事前登録参加者	1,704 名
(医師)	1,157 名
(その他)	547 名
・当日参加者	1,957 名
(医師)	1,274 名
(その他)	683 名

7. 市民向け市民公開講座

「女性のがんと検診を知る！」～人間ドック講座～

主催：社会福祉法人 聖隷福祉事業団、公益社団法人 日本人間ドック学会

共催：NPO 法人 日本人間ドック健診協会、静岡新聞社・静岡放送

参加人数 約 420 名 以上

2. 学術大会主要プログラム

第1 日目 (8 月29 日 (木) 第1 会場 アクトシティ浜松 1F 大ホール)

■ 開会式

■ 大会長講演

「トータル・ヘルス・ケアとしての人間ドックに望むもの」

座長：奈良 昌治 (公益社団法人日本人間ドック学会 理事長)

演者：堺 常雄 (聖隷浜松病院 総長)

■ 基調シンポジウム

「トータル・ヘルス・ケアとしての人間ドック

～人間ドックの入口から出口までをトータルに検証する～」

座長：堺 常雄 (聖隷浜松病院 総長)

演者：いま医療保険者から求められる人間ドックとは

古井 祐司 (ヘルスケア・コミッティー株式会社 代表取締役

国立大学法人東京大学特任助教 政策ビジョン研究センター／医学部附属病院)

労働衛生の健康診断と人間ドック

堀江 正知 (産業医科大学産業生態科学研究所 所長／産業保健管理学 教授)

人間ドック健診における医療連携のあり方

石坂 裕子 (三井記念病院総合健診センター センター長)

フォローのない人間ドックは人間ドックではない！

小山 和作 (日本赤十字社熊本健康管理センター 名誉所長)

人間ドックへの期待：エビデンスから共有価値へ

中山 健夫 (京都大学大学院医学研究科社会健康医学系専攻健康情報学分野 教授)

■ シンポジウム I

「生活習慣病関連学会ガイドラインの検証と人間ドック健診との連携」

座長：山門 實 (三井記念病院総合健診センター 特任顧問)

荒瀬 康司 (虎の門病院健康管理センター・画像診断センター 統括センター長)

演者：動脈硬化性疾患予防ガイドライン2012-改訂のポイント-

寺本 民生 (帝京大学臨床研究センター センター長)

CKD 対策における健診の位置付け, CKD 診療ガイド・ガイドラインから考える.

木村健二郎 (聖マリアンナ医科大学腎臓・高血圧内科 教授)

高血圧診療ガイドラインJSH2014 の論点と特定健診・特定保健指導
島本 和明 (札幌医科大学 学長・理事長)

糖代謝異常の予後を考慮したガイドライン
伊藤千賀子 (医療法人グランドタワー メディカルコート 理事長)

脳卒中・認知症予防と脳ドック
松本 昌泰 (広島大学大学院医歯薬保健学研究院応用生命科学部門脳神経内科学教授)

第1 日目 (8 月29 日 (木) 第2 会場 アクトシティ浜松 B1F 中ホール)

■ 教育講演

「やる気を引き出す保健指導」

座長：鳥居 裕一 (聖隷浜松病院 院長)

演者：松本 千明 (北海道立旭川高等看護学院 非常勤講師)

第2 日目 (8 月30 日 (金)) 第1 会場 アクトシティ浜松 1F 大ホール)

■ 特別講演

「人間ドックと脳ドック. トータル・ヘルス・ケアを目標に。」

座長：清水 貴子 (聖隷浜松病院 副院長)

演者：篠原 幸人 (国家公務員共済組合連合会立川病院 顧問)

■ 日本人間ドック学会 会員集会10:30 .12:00

挨拶：奈良 昌治 (日本人間ドック学会 理事長)

報告：宮下 正弘 (日本人間ドック学会 副理事長)

「2012 年全国集計成績報告」

座長：伊藤千賀子 (日本人間ドック学会副理事長、人間ドック健診統計調査委員会委員長)

演者：笹森 斉 (人間ドック健診統計調査委員会副委員長)

「委員会報告」

座長：山門 實 (学術委員会委員長)

渡辺 清明 (日本人の臨床検査基準値に関する調査委員会委員長)

三原 修一 (学術委員会 がん登録小委員会実行委員長)

杉森 裕樹 (学術委員会 基準検査検討小委員会実行委員長)

「優秀論文賞表彰式」

■ シンポジウムⅡ

「第二期特定健診特定保健指導への取組み」

座長：高橋 英孝（東海大学医学部基盤診療学系健康管理学 教授）

福井 敏樹（NTT 西日本高松診療所予防医療センター 所長）

演者：第2 期における特定健診・特定保健指導への取組状況

光行 栄子（厚生労働省保険局総務課医療費適正化対策推進室 室長補佐）

治療中の者に対する保健指導

横地 隆（トヨタ自動車株式会社健康支援センターウェルポ 所長）

後日保健指導の問題点

中西 湖雪（聖隷福祉事業団保健事業部 保健師）

身体活動基準2013 とアクティブガイドの保健指導での活用

宮地 元彦（独立行政法人国立健康・栄養研究所健康増進研究部 部長）

特定健診特定保健指導全国調査

高橋 英孝（特定健診特定保健指導対策委員会 委員長、
東海大学医学部基盤診療学系健康管理学 教授）

人間ドック健診情報管理指導士および食生活生活改善指導士研修会について

福井 敏樹（特定健診特定保健指導対策委員会 副委員長、
NTT 西日本高松診療所予防医療センター 所長）

ブラッシュアップ研修会

福田 洋（特定健診特定保健指導対策委員会 委員、
順天堂大学医学部総合診療科 准教授）

■ 閉会式

最優秀口頭発表賞、最優秀ポスター発表賞 表彰式

第2日目 8月30日（金）第2 会場 （アクトシティ浜松 B1F 中ホール）

■ シンポジウムⅢ

「全身性疾患の危険因子としての口腔内常在細菌」

座長：梅村 和夫（浜松医科大学薬理学講座 教授）

田中篤太郎（聖隷浜松病院脳神経外科 部長）

演者：口腔細菌による歯科疾患と全身疾患

仲野 和彦（大阪大学大学院歯学研究科小児歯科学教室 准教授）

Streptococcus mutans が誘発する頭蓋内出血のメカニズム解明
梅村 和夫（浜松医科大学薬理学講座 教授）

脳卒中の危険因子としての“う蝕原性菌” Streptococcus mutans
田中篤太郎（聖隷浜松病院脳神経外科 部長）

Streptococcus mutans が誘発する腸炎悪化メカニズムの解析
小島あゆち（大阪大学大学院歯学研究科小児歯科学教室 特任研究員）

■ パネルディスカッション

「検査値の読み方」

座長：米川 修（聖隷浜松病院臨床検査科 部長）

演者：臨床検査の深い読み. 良い意味でのこだわり

松尾 収二（天理医療大学医療学部臨床検査学科 教授）

身体所見をとるようにルーチン検査（基本的検査）を読もう

本田 孝行（信州大学医学部病態解析診断学 教授）

決算報告

貸借対照表

平成26年3月31日現在

公益社団法人日本人間ドック学会

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	128,085,474	98,204,974	29,880,500
未収会費			
未収金	9,000,000	2,512,189	6,487,811
前払金	616,086	1,060,973	△ 444,887
立替金	44,960	360,697	△ 315,737
流動資産合計	137,746,520	102,138,833	35,607,687
2. 固定資産			
(1) 特定資産			
学術大会特定預金	1,748,769		1,748,769
特定資産合計	1,748,769	0	1,748,769
(2) その他固定資産			
建物	1,998,309	2,304,853	△ 306,544
什器備品	1,109,719	1,849,531	△ 739,812
ソフトウェア	510,630	457,376	53,254
その他固定資産合計	3,618,658	4,611,760	△ 993,102
固定資産合計	5,367,427	4,611,760	755,667
資産合計	143,113,947	106,750,593	36,363,354
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	3,784,770	5,510,150	△ 1,725,380
未払消費税等	1,341,400	1,281,400	60,000
前受金	6,970,900		6,970,900
預り金	744,882	729,460	15,422
共同研究事業引当金	6,914,930		6,914,930
流動負債合計	19,756,882	7,521,010	12,235,872
2. 固定負債			
固定負債合計	0	0	
負債合計	19,756,882	7,521,010	12,235,872
III 正味財産の部			
1. 基金			
基金	71,084,813	71,084,813	
(うち特定資産への充当額)			
2. 指定正味財産			
受取寄付金	1,748,769		1,748,769
指定正味財産合計	1,748,769	0	1,748,769
(うち特定資産への充当額)	(1,748,769)		(1,748,769)
3. 一般正味財産			
(1) 代替基金	0	0	
(2) その他の一般正味財産	50,523,483	28,144,770	22,378,713
一般正味財産合計	50,523,483	28,144,770	22,378,713
(うち特定資産への充当額)			
正味財産合計	123,357,065	99,229,583	24,127,482
負債及び正味財産合計	143,113,947	106,750,593	36,363,354

貸借対照表内訳表

平成26年3月31日現在

公益社団法人日本人間ドック学会

(単位:円)

科 目	公益目的事業会計	収益事業等会計	法人会計	内部取引消去	合計
I 資産の部					
1. 流動資産					
現金預金		123,839	127,961,635		128,085,474
未収会費					
未収金			9,000,000		9,000,000
前払金			616,086		616,086
立替金			44,960		44,960
仮払金			3,027,111	△ 3,027,111	
貸倒引当金					
流動資産合計	0	123,839	140,649,792	△ 3,027,111	137,746,520
2. 固定資産					
(1) 特定資産					
学術大会特定預金	1,748,769				1,748,769
特定資産合計	1,748,769	0	0	0	1,748,769
(2) その他固定資産					
建物	1,730,168	96,083	172,058		1,998,309
什器備品	0	0	1,109,719		1,109,719
ソフトウェア	510,630	0	0		510,630
その他固定資産合計	2,240,798	96,083	1,281,777	0	3,618,658
固定資産合計	3,989,567	96,083	1,281,777	0	5,367,427
資産合計	3,989,567	219,922	141,931,569	△ 3,027,111	143,113,947
II 負債の部					
1. 流動負債					
未払金	3,500,943	48,160	235,667		3,784,770
未払消費税等	1,169,638	171,762			1,341,400
前受金	6,970,900				6,970,900
預り金			744,882		744,882
仮受金	3,027,111			△ 3,027,111	
共同研究事業引当金	6,914,930				6,914,930
その他流動負債					
流動負債合計	21,583,522	219,922	980,549	△ 3,027,111	19,756,882
2. 固定負債					
退職給付引当金					
受入保証金					
固定負債合計	0	0	0	0	0
負債合計	21,583,522	219,922	980,549	△ 3,027,111	19,756,882
III 正味財産の部					
1. 基金					
基金	35,542,406		35,542,407		71,084,813
(うち特定資産への充当額)					
2. 指定正味財産					
受取寄付金	1,748,769				1,748,769
指定正味財産合計	1,748,769	0	0	0	1,748,769
(うち特定資産への充当額)	(1,748,769)				(1,748,769)
3. 一般正味財産					
(1) 代替基金	0	0	0	0	0
(2) その他の一般正味財産	△ 54,885,130	0	105,408,613		50,523,483
一般正味財産合計	△ 54,885,130	0	105,408,613	0	50,523,483
(うち特定資産への充当額)					
正味財産合計	△ 17,593,955	0	140,951,020	0	123,357,065
負債及び正味財産合計	3,989,567	219,922	141,931,569	△ 3,027,111	143,113,947

正味財産増減計算書

平成25年4月1日から平成26年3月31日まで

公益社団法人日本人間ドック学会

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
受取会費	102,690,000	101,221,315	1,468,685
正会員受取会費	54,060,000	53,301,000	759,000
施設会員受取会費	47,850,000	47,140,315	709,685
賛助会員受取会費		780,000	0
事業収益	179,618,000	201,156,500	△ 21,538,500
学術大会参加収益	40,659,000	54,607,000	△ 13,948,000
学術大会展示出店料収益	17,700,000	25,416,500	△ 7,716,500
学術大会共催セミナー収益	7,100,000	20,475,000	△ 13,375,000
認定医・専門医研修会事業収益	23,670,000	15,690,000	7,980,000
専門医試験・認定事業収益	6,136,000	5,800,000	336,000
認定医認定・更新事業収益	10,610,000	9,120,000	1,490,000
情報管理指導士研修認定事業収益	35,027,000	26,270,000	8,757,000
食生活改善指導士研修事業収益	791,000	4,440,000	△ 3,649,000
機能評価審査・認定事業収益	13,200,000	17,900,000	△ 4,700,000
指定事業収益	22,640,000	20,480,000	2,160,000
雑誌販売事業収益	1,955,000	838,000	1,117,000
国際人間ドック会議会費	130,000	120,000	10,000
受取補助金等	9,575,865	0	9,575,865
助成金	9,575,865		9,575,865
受取寄付金	1,681,231	13,500,000	△ 11,818,769
受取寄付金		13,500,000	△ 13,500,000
受取寄付金振替額	1,681,231		1,681,231
雑収益	6,045,703	12,269,310	△ 6,223,607
受取利息	12,633	24,637	△ 12,004
広告掲載料収益	3,128,000	3,437,900	△ 309,900
雑収益	2,905,070	8,806,773	△ 5,901,703
経常収益計	299,610,799	328,147,125	△ 28,536,326
(2) 経常費用			
事業費	250,189,750	283,283,598	△ 33,093,848
給料手当	37,047,535	31,865,732	5,181,803
法定福利費	5,158,567	4,393,486	765,081
退職給付費用	1,556,580	1,509,930	46,650
福利厚生費		17,850	△ 17,850
旅費交通費	16,194,498	14,742,788	1,451,710
通信運搬費	10,154,049	10,556,546	△ 402,497
減価償却費	517,143	595,436	△ 78,293
消耗什器備品費			0
消耗品費	1,944,929	5,964,987	△ 4,020,058
印刷製本費	40,202,426	34,077,364	6,125,062
光熱水料費	548,540	575,558	△ 27,018
貸借料	35,445,129	64,705,565	△ 29,260,436
会議費	21,058,344	1,507,605	19,550,739
保険料	19,055		19,055
諸謝金	10,173,426	11,413,821	△ 1,240,395
租税公課	2,587,600	2,494,100	93,500
委託費	67,028,464	98,096,140	△ 31,067,676
雑費	553,465	766,690	△ 213,225
管理費	27,042,336	27,026,896	15,440
給料手当	3,426,187	3,332,795	93,392
法定福利費	488,558	477,011	11,547
退職給付費用	136,800	136,800	0
福利厚生費	515,450	394,250	121,200
旅費交通費	4,499,750	4,266,980	232,770
通信運搬費	2,353,496	2,389,682	△ 36,186
減価償却費	912,759	738,500	174,259
消耗什器備品費	471,725		471,725
消耗品費	947,411	1,315,536	△ 368,125
修繕費	1,575		1,575
印刷製本費	2,622,739	2,838,732	△ 215,993
光熱水料費	36,569	52,323	△ 15,754
貸借料	1,799,270	2,188,091	△ 388,821
会議費	591,163	734,989	△ 143,826
保険料	516,336	461,474	54,862
諸謝金	470,000		470,000
租税公課	378,850	307,049	71,801
委託費	5,871,519	6,415,754	△ 544,235
交際費	160,929	266,100	△ 105,171
雑費	841,250	710,830	130,420
経常費用計	277,232,086	310,310,494	△ 33,078,408
当期経常増減額	22,378,713	17,836,631	4,542,082
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益	0	0	0
(2) 経常外費用	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	22,378,713	17,836,631	4,542,082
一般正味財産期首残高	28,144,770	10,308,139	17,836,631
一般正味財産期末残高	50,523,483	28,144,770	22,378,713
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額			
受取寄付金	3,430,000	0	3,430,000
一般正味財産への振替額	△ 1,681,231	0	△ 1,681,231
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	1,748,769	0	1,748,769
III 基金増減の部			
基金受入額			0
基金返還額			0
基金増減額	0	0	0
基金期首残高	71,084,813	71,084,813	0
基金期末残高	71,084,813	71,084,813	0
IV 正味財産期末残高	123,357,065	99,229,583	24,127,482

正味財産増減計算書内訳表

自 平成 25 年 4 月 1 日
至 平成 26 年 3 月 31 日

公益社団法人 日本人間ドック学会

科目	公益目的事業会計					収益事業等会計			法人会計	内部取引除	合計	
	①学術大会・国際学会	②学会誌	③施設特定・資格認定(認定医・専門医・検師計画)	④資格付与(情報管理・実生活改善推進士研修会)	⑤統計・調査	共通	小計	収益事業等会計				
								①指定				共通
I. 一般正味財産増減の部												
[1. 経常増減の部]												
(1) 経常収益												
1. 受取会費	0	0	0	0	0	27,030,000	0	0	27,030,000	0	54,060,000	
1101 正会員受取会費	0	0	0	0	0	27,030,000	0	0	27,030,000	0	54,060,000	
1102 施設会員受取会費	0	0	0	0	0	23,925,000	0	0	23,925,000	0	47,850,000	
1103 賛助会員受取会費	0	0	0	0	0	390,000	0	0	390,000	0	780,000	
2. 事業収益	40,659,000	0	0	0	0	40,659,000	0	0	40,659,000	0	40,659,000	
1201 学術大会参加収益	17,700,000	0	0	0	0	17,700,000	0	0	17,700,000	0	17,700,000	
1202 学術大会展示出店料収益	7,100,000	0	0	0	0	7,100,000	0	0	7,100,000	0	7,100,000	
1203 学術大会共催セミナー収益	0	0	23,670,000	0	0	23,670,000	0	0	23,670,000	0	23,670,000	
1204 認定医・専門医研修会事業収益	0	0	6,136,000	0	0	6,136,000	0	0	6,136,000	0	6,136,000	
1205 認定医試験・認定事業収益	0	0	10,610,000	0	0	10,610,000	0	0	10,610,000	0	10,610,000	
1206 認定医認定・更新事業収益	0	0	35,027,000	0	0	35,027,000	0	0	35,027,000	0	35,027,000	
1207 情報管理指導士研修認定事業収益	0	0	791,000	0	0	791,000	0	0	791,000	0	791,000	
1208 食生活改善指導士研修事業収益	0	0	13,200,000	0	0	13,200,000	0	0	13,200,000	0	13,200,000	
1209 機能評価審査・認定事業収益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
1210 指定事業収益	0	0	0	0	0	0	22,640,000	0	22,640,000	0	22,640,000	
1211 雑誌販売事業収益	540,000	9,000	1,406,000	0	0	1,955,000	0	0	1,955,000	0	1,955,000	
1212 国際人間ドック会議会費	130,000	0	0	0	0	130,000	0	0	130,000	0	130,000	
1301 助成金	575,865	0	0	9,000,000	0	9,575,865	0	0	9,575,865	0	9,575,865	
3. 受取補助金等	1,681,231	0	0	0	0	1,681,231	0	0	1,681,231	0	1,681,231	
4. 受取寄付金	4,227	0	0	0	0	4,227	0	0	4,227	8,406	12,633	
5. 雑収益	2,040,000	1,088,000	0	0	0	3,128,000	0	0	3,128,000	0	3,128,000	
1502 広告掲載料収益	0	182,676	1,373,000	0	0	1,555,676	0	0	1,555,676	0	1,555,676	
1503 雑収益	70,430,323	1,279,676	56,395,000	35,818,000	9,000,000	224,267,999	51,345,000	23,740,000	249,394	0	299,610,799	
[経常収益計]	1,801,589	1,791,834	20,577,765	8,167,896	3,074,095	35,413,179	1,634,356	1,634,356	1,634,356	0	37,047,535	
(2) 経常費用												
1. 事業費	251,833	261,598	2,818,910	1,164,831	434,445	4,931,617	226,950	226,950	226,950	0	5,158,567	
2101 給料手当	72,000	72,000	854,410	385,370	108,000	1,491,780	64,800	64,800	64,800	0	1,556,580	
2102 法定福利費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
2103 退職給付費用	1,515,350	1,605,339	8,167,999	1,805,740	2,567,050	15,661,478	533,020	533,020	533,020	0	16,194,498	
2104 福利厚生費	1,109,965	5,489,649	1,066,380	1,829,252	391,243	9,896,489	257,560	257,560	257,560	0	10,154,049	
2105 旅費交通費	7,664	7,664	292,447	178,714	19,159	505,648	11,495	11,495	11,495	0	517,143	
2106 通信運搬費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
2107 減価償却費	1,944,929	0	0	0	0	1,944,929	0	0	1,944,929	0	1,944,929	
2108 消耗什器備品費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
2109 消耗品費	5,419,266	13,847,825	10,403,088	6,406,804	3,745,491	39,822,454	379,972	379,972	379,972	0	40,202,426	
2110 修繕費	14,628	14,628	314,496	146,277	36,569	526,598	21,942	21,942	21,942	0	548,540	
2111 印刷製本費	20,483,013	379,450	8,562,548	5,164,658	580,134	35,169,803	275,326	275,326	275,326	0	35,445,129	
2112 光熱水料費	20,422,855	18,900	122,470	318,414	102,810	20,985,449	72,895	72,895	72,895	0	21,058,344	
2113 賃借料	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
2114 会議費	2,008,910	0	4,574,516	3,590,000	0	10,173,426	0	0	10,173,426	0	10,173,426	
2115 保険料	951,417	17,859	787,088	499,901	0	2,256,265	331,335	331,335	331,335	0	2,587,600	
2116 諸謝金	14,401,489	15,856,376	7,517,177	9,930,406	18,994,026	67,028,464	0	0	67,028,464	0	67,028,464	
2117 委託費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
2118 支払助成金	6,360	121,470	303,470	15,015	107,150	553,465	0	0	553,465	0	553,465	
2119 雑費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
2201 給料手当	3,426,187	0	0	0	0	3,426,187	0	0	3,426,187	0	3,426,187	
2202 法定福利費	488,558	0	0	0	0	488,558	0	0	488,558	0	488,558	
2203 退職給付費用	136,800	0	0	0	0	136,800	0	0	136,800	0	136,800	
2204 福利厚生費	515,450	0	0	0	0	515,450	0	0	515,450	0	515,450	

財務諸表に対する注記

1 重要な会計方針

- (1) 適用している会計基準
「公益法人会計基準」(平成20年4月11日平成21年10月16日改正内閣府公益認定等委員会)を採用している。
- (2) 固定資産の減価償却の方法
- ① 有形固定資産
- | | |
|--------|-----|
| 建物付属設備 | 定率法 |
| 什器備品 | 定率法 |
- なお、主な耐用年数は次のとおりです。
- | | |
|--------|-----|
| 建物付属設備 | 15年 |
| 什器備品 | 5年 |
- ② 無形固定資産
- | | |
|--|-----|
| | 定額法 |
|--|-----|
- (3) 引当金の計上方法
共同研究事業引当金 共同研究事業の本年度研究分の残務事務の執行見込額を計上している。
- (4) リース会計基準適用初年度開始前の所有権移転外ファイナンス・リース取引
引き続き通常の賃貸借処理に係る方法に準じた会計処理を適用している。
- (5) 消費税等の会計処理
消費税等の会計処理は税込経理を採用している

2 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

有形固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

科目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
建物付属設備	2,560,235	561,926	1,998,309
什器備品	2,034,637	924,918	1,109,719
合計	4,594,872	1,486,844	3,108,028

3 リース会計基準適用初年度開始前のファイナンス・リース取引関係

- (1) リース物件の取得価額相当額、減価償却累計額相当額及び期末残高相当額

	什器備品	合計
取得価額相当額	3,906,000	3,906,000
減価償却累計額相当額	3,906,000	3,906,000
期末残高相当額	0	0

- (2) 未経過リース料期末残高相当額

	1年以内	1年超	合計
未経過リース料期末残高相当額	0	0	0

- (3) 当期の支払リース料、減価償却費相当額及び支払利息相当額

支払リース料	195,300
減価償却費相当額	110,250
支払利息相当額	-

- (4) 減価償却費相当額の算定方法は、定額法によっている。

- (5) 利息相当額の算定方法は、利息相当額の総額のリース資産総額に対する重要性が乏しいと認められるため、リース料総額から利息相当額の合理的な見積額を控除しない方法によっている。

4 退職給付関係

- (1) 採用している退職給付制度の概要

独立行政法人勤労者退職金共済機構の退職金共済制度に加入し、原則として同機構からの支給額をもって退職金とする。

- (2) 退職給付債務及びその内訳

退職給付債務	0	当該退職共済制度は確定拠出型のため、退職給付債務は発生しない。
退職給付引当金	0	

- (3) 退職給付費用に関する事項

勤務費用	1,693,380
退職給付費用	1,693,380

当年度に支払った退職金共済掛金の金額である。

5 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

内容	金額
経常収益への振替額	
支出費用計上による振替額	1,681,231
合計	1,681,231

財 産 目 録

平成26年3月31日現在

(単位：円)

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産)			
現金預金	手元現金	支払資金として使用	
	振替貯金 ： ゆうちょ銀行一番町郵便局	支払資金として使用	39,045,692
	普通預金 ： 三井住友銀行麹町支店 ： 千葉銀行柏支店	支払資金として使用	59,015,367 1,000
	定期預金 ： 三井住友銀行麹町支店		30,023,415
	未収入金	健保連共同研究事業助成金	
前払金	事務所賃料翌年度期間分		616,086
立替金	休職職員負担、住民税等立替金		44,960
流動資産合計			137,746,520
(固定資産)			
特定資産	学術大会特定預金 ： 三井住友銀行麹町支店	公益目的事業の指定正味財産見合預金	1,748,769
その他固定資産	建物	事務所及び会議室 公益目的事業に87.5%、収益事業等に6.25%、法人管理に6.25%使用	1,998,309
	什器備品	パーソナルコンピューター コピー機	609,882 499,837
	ソフトウェア	会員管理・事業管理用 (公益目的保有財産) 公益目的事業管理ソフト	510,630
固定資産合計			5,367,427
資産合計			143,113,947
(流動負債)			
未払金	経費未払額		3,784,770
未払消費税等	確定申告納付消費税等未払額		1,341,400
前受金	次年度事業前受額		6,970,900
預り金	一般社団法人日本病院会 源泉所得税、住民税 社会保険料	指定料	40,000 399,892 304,990
共同研究事業引当金		本年度研究分の残務事務の執行見込額	6,914,930
流動負債合計			19,756,882
(固定負債)			
固定負債合計			
負債合計			19,756,882
正味財産			123,357,065

附属明細書

1. 基本財産及び特定資産の明細

(単位：円)

区 分	期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高	摘要
学術大会特定預金	0	1,748,769	0	1,748,769	

2. 引当金の明細

(単位：円)

区 分	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高	摘要
			目的使用	その他		
共同研究事業引当金	0	6,914,930			6,914,930	